

第2回秋田市マイタウン・バス北部線運行協議会議事録

開催の日時 平成20年9月9日(火)午後2時から午後3時半まで

開催の場所 北部公民館

委員の定数 17名

出席委員 10名

議 題 (1) 秋田市マイタウン・バス北部線の愛称選考について
(2) 秋田市マイタウン・バス北部線の運行実績について
(3) 秋田市マイタウン・バス北部線の利用促進について

事務局 開会の言葉

会 長 挨拶

議事に入る。

事務局 「秋田市マイタウン・バス北部線の愛称選考」について説明
事前に投票のあった上位11位までの結果を出してあるので、ここからさらに
選考する
上位5位まで絞り込み
話し合いにより「北部ふれあい号」に決定

「秋田市マイタウン・バス北部線の運行実績」について説明

会 長 現状については把握できたが、利用者は徐々に増加しているようである。この現状について何か質疑はあるか。利用者数を伸ばすことができればと思う。

委 員 現在の運行形態は市が導入したものである。収支については我々は関係ないものである。
今回は現状の報告ということでよいのか。

会 長 このままでは利用者が増えず、マイタウン・バス北部線も廃止ということになる。そうならないよう対策を話さなければならないものである。

委 員 現在出ている意見としては、定時発車してほしいということである。聞いたところでは組合病院発で予約が1人だけで、定刻の20分前にその利用者が来た時には、既にタクシーが発車してしまっていたといったことがあったようである。利用人数を増加させるためにも乗車定員に余裕がある場合は予約なしでも乗せるべきである。これにより利用人数が増加するのではないかと考える。

委 員 一時間前に予約がないと乗せないというのは大変な問題である。予約なしでも乗せるようにするべきである。行政の方でしっかり対応してもらいたい。

委 員 途中から乗る人のためにもしっかり定時出発してほしい。聞くところでは遅れて到着する例が多々あるようである。

委 員 決められたものは決められたものとして、運用をどのようにしていくかという問題であると思う。予約していた人が来ない場合でも10分は待つことにしている。その間、電話もしている。それで今から行くという人もいるし、体調が悪くなってキャンセルする人もいる。運行している側としては利用者のためを考えてしっかりやっているつもりである。今後はどのように運用していくかが問題となるものである。

委 員 利用者を増加させるためにも満員でなければ乗せた方がいいと思う。

委 員 直前の予約でも、乗合タクシーに連絡して乗せるように手配はしており、弾力的に対応はしている。

会 長 乗車定員に空きがあれば乗せるようにするべきはないかと思う。

委員 ルールはルールとして、要は運用をどう行うべきかということではないか。運用に幅を持たせていけば良いのではないかと思う。

会長 日曜日に遅いバスを走らせてもらえないかという意見もある。既存のバス路線の関係で難しいと聞いてはいるが、土崎の駅まで行ってもらいたいという意見がある。

委員 既存のバスは撤退したのだから、難しく言われる必要はないのではないか。

会長 下りは、予約者が乗車していれば出発してしまうことがあるようなので、定時に出発し、席に余裕があれば乗せてほしいものである。次に利用促進策に移る。

事務局 「秋田市マイタウン・バス北部線の利用促進について」の説明

委員 どんなに周知しても聞いていない人は必ず出る。全戸配布は不要であると思う。地域センターや公民館等に置いてもらうことで良いと思う。

委員 工夫しながら、上新城地区のみの時刻表を作成して配布している。各地域でPRは出来るものである。

委員 地域センターにはあまりパンフレットがないようである。町内会にはあまり人が出席しないのでPRのしようがない。今回は間に合わないと思うが、老人クラブにPRするのは効果的だと思うので老人クラブ向けのPR資料はないものか。金足地区は日曜日は、行きも帰りも乗合タクシーを利用できない。西小のスクールバスの関係もあるが、黒川地区の6時45分はあまりに早すぎて利用できない。7時半とかの便を考えてほしいものである。

委員 利用した人は皆喜んでいる。電話が面倒という意見はあるようである。

会長 一度利用した人は、電話が登録されているため、オペレーターがすぐ分かってくれるのは嬉しいものである。

委員 バス時刻が不案内な人が多いようである。電話でも何度も聞き返さないといけないようである。お客さんの名前は登録しているため、電話がつながるとすぐ分かるので住所などを聞く必要がない。冬期期間の定時運行は雪の影響で難しくなるかと危惧している。

会長 乗合タクシーを足がかりに、タクシー割引券とかの配布は考えたりしないのか。

委員 路線の設定で難しいのは、既存事業者か陸運支局か。

事務局 既存事業者である。既存の路線と競合するのは事業者が嫌がるものである。

会長 次回は冬期対策等で11月の開催ということでよいか。

事務局 そう考えている。

- 議事終了 -